

実施計画事業名		消費活動促進事業		評価対象年度	平成 22 年度		
評価担当部署		建設産業部 サハリン課		課長(主幹)名	佐藤秀志		
総合計画体系	分野	5	産業振興				
	政策	3	地域経済を支える未来の芽を育成				
	施策	1	商業の振興を図ります				
	関連施策						
現状と課題	本市は、宗谷管内一の商圈を有しているが、道北他都市の商業機能の充実、消費者ニーズの多様化などにより、購買力が管外に流出している。本市の商業機能の集積を図りながら、市と定期航路で結ばれるサハリン州も商圈として捉えていく必要がある。						
目的	活力ある商業圏を形成する。						
5ヶ年展開の	<p>①誘致・PR活動…稚内外国人観光客誘致受入実行委員会(事務局:稚内市観光交流課)を中心に、サハリン州の購買力を向けるため、買い物等を目的とする本市へのツアーの企画促進や観光PRIに努める。</p> <p>②受入基盤の強化…語学研修の開催や日本文化体験メニューの創出、ロシア語表記のマップやメニューの作成などを関係団体と連携を取り進める。</p>						
成果指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度
	ロシア人宿泊者数		人	目標	1,200	1,200	1,200
説明	本市に宿泊したロシア人の延人数(観光客入込調査による) ※H20~1,078人			実績	1,062	1,179	
活動指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度
	サハリンからのツアー受入人数		人	目標	320	320	320
	説明	外国人観光客誘致受入実行委員会の活動により本市をツアーで訪れた人数		実績	86	116	
	サハリン航路利用のための旅行エージェン 等PR活動の実施回数		回	目標	-	3	3
	説明			実績	9	4	
				目標	-	-	-
	説明			実績			
				目標	-	-	-
説明			実績				
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)	千円	10,125	13,233	2,595	平成23年度は、補正で 予算計上の予定あり	
	国庫支出金	千円	0	0	0		
	道支出金	千円	0	0	0		
	起債	千円	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0		
	一般財源	千円	10,125	13,233	2,595		
	この事業にかかる職員数	人/年	1.38	1.30	1.30		
人件費(B)	千円	9,558	8,828	8,828			
計(A+B)	千円	19,683	22,061	11,423			
状況変化	<p>実施計画当初(平成21年~)からの状況変化</p> <p>以前は、日本側の一方的な情報の提供、観光客誘致を行ってきたが、近年、サハリンの経済状況の好転により、日本側の支援を受け、サハリン側から積極的にツアーを試みるようになってきた。ただ、少人数で長期間のツアーを好むなど、日本側とは思惑が異なるため、急激なツアー客増加が見られないのが現状。</p>						

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 一層のサハリンからの観光客誘致に取組み、本市経済の活性化に繋げるためにも、新たな観光商品の開発が不可欠であり、ロシア人の関心が高い「メディカルツーリズム」などをオプション化した誘客プランへの取組みが必要。
	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 稚内市の魅力あるイベント等を情報発信するとともに、稚内日口経済交流協会などと連携を図り、稚内側の受け入れ体制の充実を図るためワンポイント「ロシア語」講座など開催。
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	B 見直しの検討が必要 <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 旅行エージェント訪問、またサハリンからの観光ツアーへの支援などを積極的に取組みながら、合わせて本市側の受け入れ態勢の充実を図っていく。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	b	細事業の進め方	b	コスト効率	a
総 合 評 価	B 見直しの検討が必要 <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--